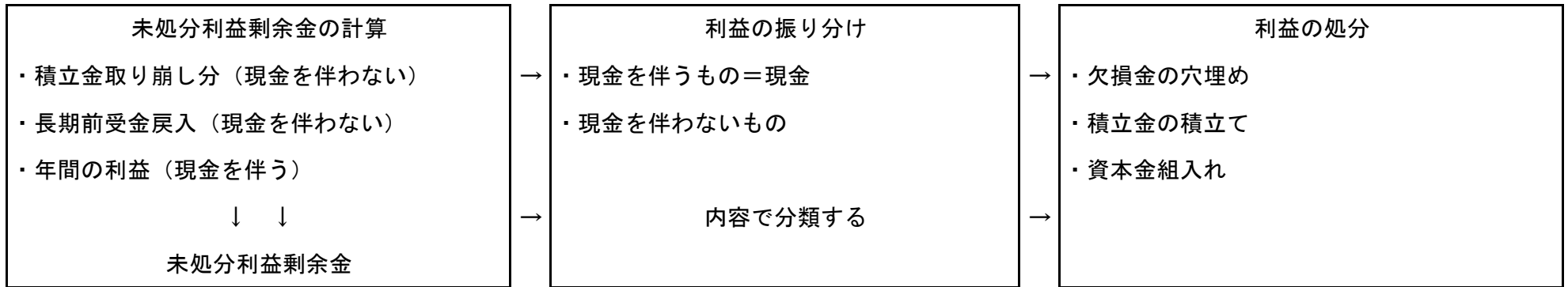


佐倉市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例（案）について

1. 利益の処分までの流れ

利益は、会計基準の見直しにより、次の3つの段階で処理を行う必要があります。



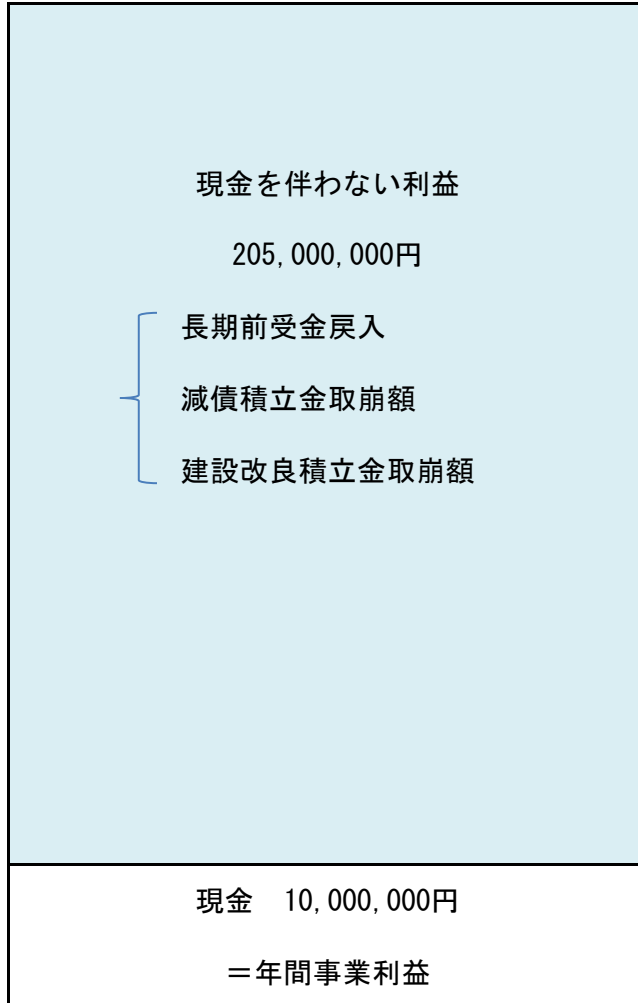
2. 利益等の内容（例）

利益等の内容を下記の金額と仮定します。

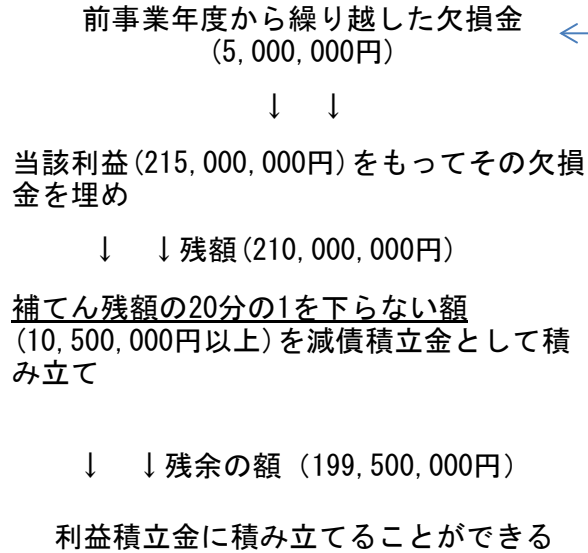
(1) 減債積立金取り崩し額	5,000,000円	} 以上の額と仮定して計算
(2) 長期前受金戻入額	200,000,000円	
(3) 年間の利益	10,000,000円	
(4) 前年度から繰り越した欠損金	5,000,000円	

3. 利益の処分（改正前）

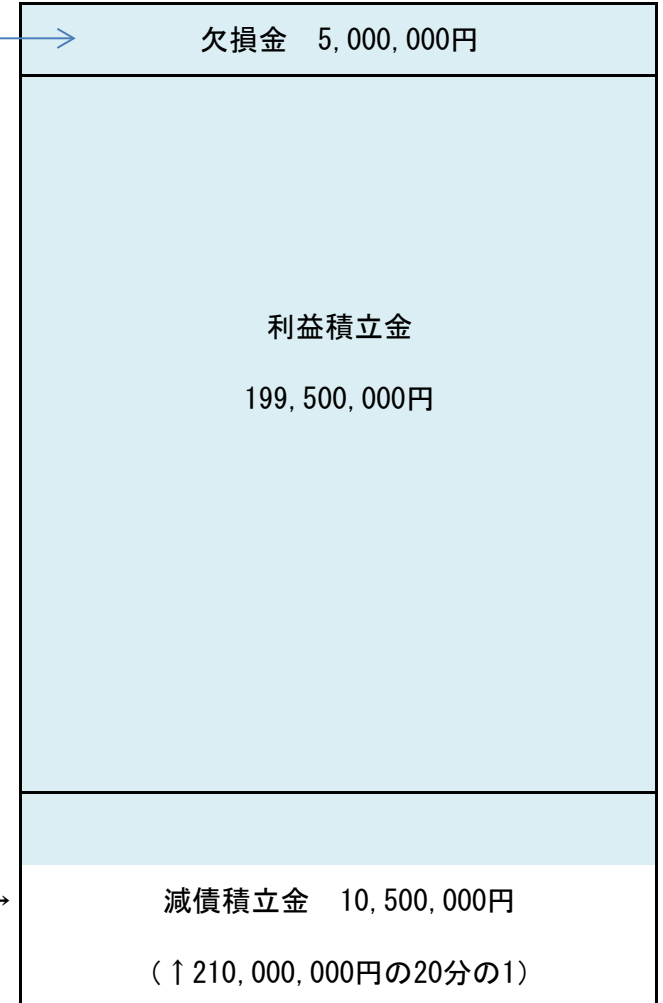
（利益の振り分け後）



（現行条例の規定）



（結果）



差額

500,000円

（現金を伴わない減債積立金）

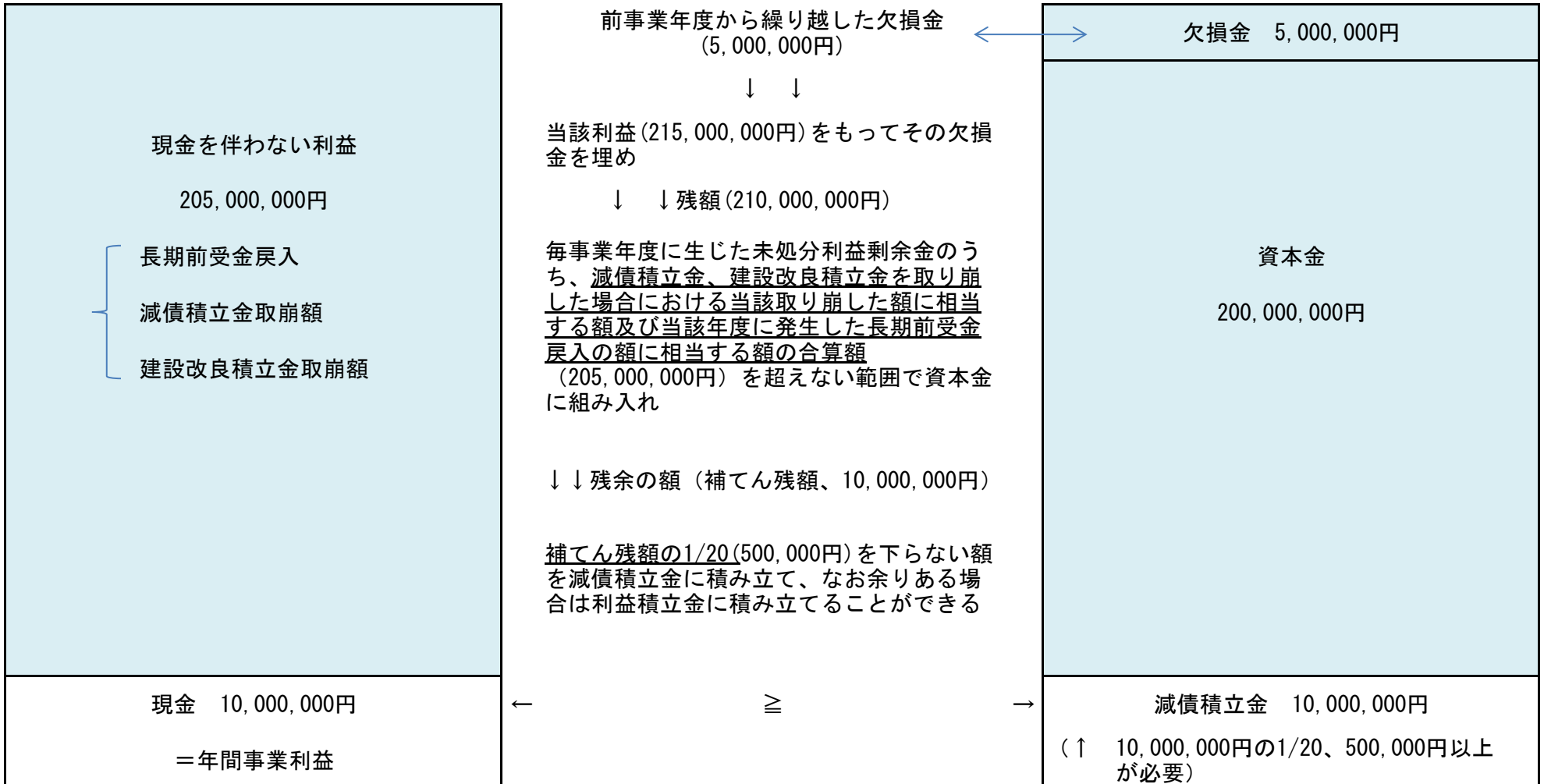
※そのまま使用できない

4. 利益の処分（改正後）①現金を伴う利益がある場合

（利益の振り分け後）

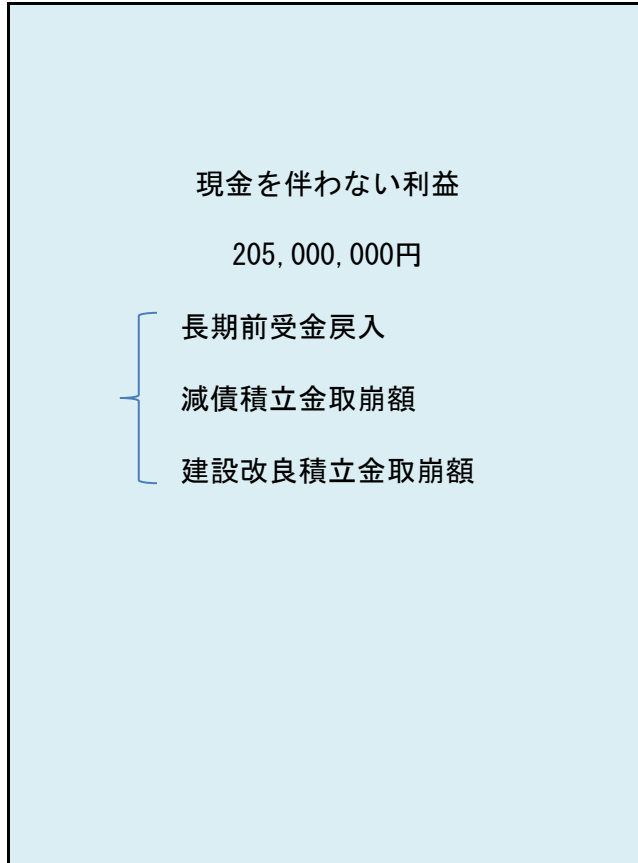
（改正後の条例の規定）

（結果）

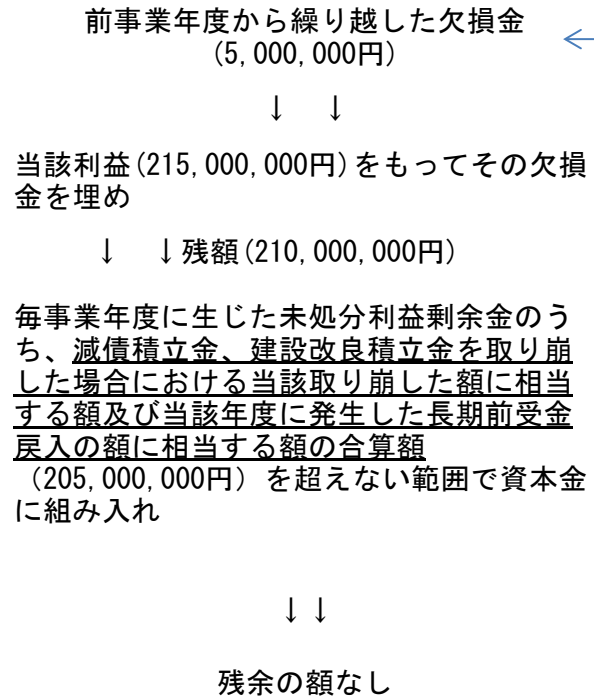


4. 利益の処分（改正後）②現金を伴う利益がない場合

（利益の振り分け後）



（改正後の条例の規定）



（結果）

